



学校だより



青梅市立東小中学校
令和6年度 第6号
令和6年9月30日

「ありがとう」が「あたり前」に言える人になろう！

小学校副校長

明日から10月を迎え、学校では1年間の半分以上が過ぎようとしています。残り半年、今の学年をどのように終えるかは、これからの自分自身の言動によって大きく変わると思います。なりたい自分、なれる自分… 目指す自分像を具体的に言葉にして、周りの大人に伝えてください。先生たちは最後まで皆さんを応援していきます。

さて、「暑い」の反対語は？と聞かれると、すぐに「寒い」と出てきますよね。では、「ありがとう」の反対語は？と聞かれるとどうでしょう。「ありがとう」を漢字で書くと「有り難う」と書きます。「有ることが難しい」ということです。つまり、「滅多にない」「珍しくて貴重だ」という意味です。だから「有難う」の反対語は「あたり前」になるのです。

皆さんは、どんな時に「ありがとう」と言っていますか？何か特別なことをしてもらったときや助けてもらったときに「ありがとう」と言いますよね。先日、教室で、落ちた消しゴムを拾って渡したときに「ありがとう」と言ってくれた人がいました。何気ないコミュニケーションですが、しっかりと『ありがとう』を伝えてくれたその心がうれしくなりました。

私が「あたり前」だと思っていることが、実は「あたり前」ではない。けれども、そのことに対して、素直に「ありがとう」と言える人は、かっこいいなと思います。「ありがとう」という言葉がたくさん聞こえる東小・中学校、学園にしていきたいですね。

白熱した 百人一首大会

9月28日（土）学園の恒例行事である百人一首大会が行われました。年度当初から日程を変更しての開催でした。何よりも、全員が競技に集中して取り組んでいた姿に、まず感動したものです。児童・生徒一人一人が、この日までチームの優勝を目指し、寮の先生方の指導のもと、必死になって暗唱にがんばっている姿は熱量を感じるものがありました。読み手の声に精神を集中し、真剣な表情で札を見つめていました。この大会に本気で取り組んできた努力の姿勢が現れていました。しーんと静まる瞬間の体育館に“はい！”というみんなの声が響くと、心地よさを感じとることができました。日本の伝統の一つである百人一首が、学園の大会をとおして子供たちに受け継がれることはとても素晴らしいことです。子供たちのがんばりに拍手を送るとともに運営にご尽力された学園の先生方に感謝いたします。

小学校 水道キャラバン ～水道水が蛇口に届くまで～

9月17日（火）に小学生は、東京都水道局主催の出前授業「水道キャラバン」の授業を受けました。水道水ができるまでについて、写真やイラストを用いて分かりやすく教えていただきました。何よりも、安心安全に各家庭に水を届けるために、各工程のところで、多くの人の支えがあって供給されていることを学びました。水道水源林やダムを管理することの大切さ、その水道水源林はふかふかな土や砂利が組み合わさってできていることを、実際に触ることで知りました。また、きれいな水を作る浄水場の役割や沈殿池の仕組み、よりおいしい水を作る工夫について理解する実験をとおして水をきれいにする仕組みを理解しました。供給するための水道管は、自然災害に備えたつくりになっていることも、映像をとおして学びました。本学習から、支えてくれている方々への感謝の気持ちをもつとともに、地球上では、0,001%しか使用できる水がないことに驚きと、より大切にしようという思いを強くもちました。

学びと心 「手話」「点字」 体験活動

9月19日(木)は第2回学びと心の体験活動でした。女子は点字体験、男子は盲導犬体験を行いました。中学3年生が講師の先生へお礼の言葉、感想を発表したのでご紹介します。

『点字にはいろいろな工夫がされていて、視覚障がい者の方も文字を認識して自分の行きたいお店がどこにあるのかなど確認することができるということを知ることができました。また、点字体験を通して、点字は公共の場で使われるだけでなく、私も点字を打つことができるのだとびっくりしました。でも、穴が開いてしまいなかなかきれいに打つことができないと感じました。今まで、外で視覚障がい者の方を見かけても、下手に声をかけるよりも何もしない方がよいのではないかと考えていたけれど、これからは今日お話ししていただいたことを意識して、声をかけてみようと思いました。』

『最初のイメージは、どうやって目の不自由な方を街中で誘導しているのだろう？危なくないのかな？という疑問がありました。また、信号や障害物をどのように渡ったり、よけたりするのかと、分からないことだらけでした。今日の授業を受けて分かったことが増えました。盲導犬は厳しい訓練を受け、障害物などを避けたりして目の不自由な方を誘導し、体の一部だということを聞いてびっくりしました。僕がもし、盲導犬を連れてくる人に会ったら、積極的に話しかけ、お手伝いをしたいです。そしてその時は盲導犬に触ったりエサをあげたりしないようにしたいです。また、盲導犬のすごさや目の不自由な方大変さなどを周りの人たちに伝えたいです。』

中学校クラブ活動 剣道部 市民剣道大会

9月15日(日) 青梅市民剣道大会に参加しました。小学生から大人まで参加する本大会。参加生徒は男子4名、女子4名、見学1名。緊張感を漂わせながらも“楽しむ”ことを一番に、やり切った1日となりました。また教員も個人戦、団体戦に出場し、子供たちと一緒に奮闘しました。

青梅市は全体的に剣道のレベルが高く、一勝することすら難しいのが実情です。しかし、これまでの練習で培ってきた経験を活かし、必死になって試合に臨むことができました。綺麗な胴を決めて勝利できた生徒、面を一本取ることができた生徒、負けてはしまったものの練習以上の声が出せていた生徒。試合を終えた子供たちの表情からは、全力で取り組むことの楽しさを感じていたように見えました。

朝食・昼食や予定の調整、庁有車の準備、また応援に来ていただいた先生方、多くの人の支えがあり参加できた本大会となりました。今後とも剣道部の生徒たちのがんばりを温かい目で見守っていただければと思います。ありがとうございました。

中学校クラブ活動 サッカー部

現在部員は16人です。挨拶係、体操係などの役割は中学3年生が輪番で担当しています。サッカーを上手になるために日々汗だくで頑張っています。そんなサッカー部で大切にしていることは大きく2つあります。

「前向きな声かけをしよう！」

→「ナイスシュート！」「ドンマイ！」など、前向きな声かけをし、クラブ全体の雰囲気良くしていきましょう。

「失敗を恐れずチャレンジしよう！」

→チャレンジしないことには何の成長もありません。たくさんチャレンジし、技術力を高めていきましょう。

子供たちはこの2つの目標と、個人で立てた目標に沿って一所懸命取り組んでいます。この半年でたくさんの上達が見て取れます。今はクラブ内のミニゲームが中心ですが、いつか寮の先生方をお招きして大ゲームができることを目標に頑張っていきます。